



学校だより

北海道中札内高等養護学校幕別分校
令和 8 年 6 月 19 日 (金)
第 2 号
〒089-0615 中川郡幕別町南町 81 番地 1
電話 0 1 5 5 - 5 5 - 2 1 2 1
FAX 0 1 5 5 - 5 5 - 2 1 2 2

地域とともに育む「働く力」に向けて

教頭 原 田 誠 治

日増しに夏めいてまいりました。日頃より、本校の教育活動に対し、温かな御支援をいただき、心より感謝申し上げます。

幕別分校では、生徒たちが将来の自立と社会参加を目指し、日々「働く力」の育成に励んでおります。今回は、この初夏に行われた教育活動の取り組みについて御紹介いたします。

5月下旬、3年生は1週間の「労働週間」を実施いたしました。JR幕別駅やパークプラザといった地域の公共施設にお邪魔して清掃活動に励み、実践的な力を養いました。活動中に地域の皆様からいただいた温かいお声掛けは、生徒たちにとって大きな励みとなりました。

同時期に、2年生は2週間の「現場実習(春)」に取り組みました。実際の企業や事業所での就業体験を通じ、働くことの厳しさと喜びを肌で感じ、社会人として必要な力を養う貴重な機会となりました。

また、6月には「施設・職場見学」も実施し、将来の自立に向けたイメージをより具体化させています。

さらに、中学3年生を対象とした「学校見学会・作業学習体験会」では、分校の生徒たちが自らの学ぶ姿を見せることで、新たな自信を深める姿も見られました。

幕別分校の生徒たちは、「地域という大きな教室」で、皆様との関わりを通じて一歩ずつ成長しています。各事業所での実習受け入れや、活動中の言葉掛けなど、地域の皆様の支えが、生徒たちの自立への道を照らしてくれています。

これからも地域に根ざした教育活動に努めてまいりますので、変わらぬ御支援と御鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

生徒の皆さん、「働く力」は未来を切り拓く大切な力です。日々の学習や実習で経験する成功も失敗も、すべてが皆さんの成長につながっています。地域の方々に支えられながら学べることへの感謝を忘れず、一步一步着実に前へ進んでください。皆さんの可能性は無限に広がっています。自分を信じ、仲間とともに挑戦し続ける姿を期待しています。

2 学年 現場実習

5月18日(月)～5月29日(金)の日程で2学年の16名が現場実習を行いました。2年生では現場実習が2回あり、そのうちの1回目が終了しました。実習先では、小売業や製造業、福祉事業所など様々な職種や業種での仕事を体験することができたと思います。今回は単独での実習のため、不安や緊張がありながらも一人ひとり自分の力で乗り越えていく経験をしてきました。実習先では、身近な教師に分からないことを質問したり、指示を聞いたりできる普段の学校生活と違い、初めて出会う人や場所で行うため、普段の力が試される場でもありました。しかし、実習先からは高評価をいただく生徒が多く、普段からの態度や学習が活かされているのではないかと感じました。

今回の実習で経験したことや失敗したこと、学んだことを振り返り、次回の現場実習では、反省を生かしてさらに実りある実習にしていけるよう、学校生活でも意識して取り組んでほしいと思います。保護者等及び各事業所の皆様、2週間ご協力いただきありがとうございました。

2 学年作業担当



3 学年 労働週間



5月18日(月)～22日(金)は、1週間通して学校内の特別教室や、町内施設の清掃に取り組みました。これまで身に付けてきた清掃技術を生かし、自分たちで清掃の計画を立てて作業を進めました。

予定された清掃区域を時間内に綺麗に整えるために、一人一人が丁寧かつ、手早く作業を進めるとともに、グループ内で積極的にコミュニケーションを取ることも必要でした。

振り返りでは、「自分から声掛けができた」「他の人を手伝うことができた」などの良い成果や、「汚れが残っていたので、丁寧な作業や最終確認を忘れないようにする」「指示を待っていることが多かったので、分からないことや思ったことを自分から言えるようにしたい」などの課題もあがりました。

今回の経験を踏まえ、自分の目標を持ちながら学校生活を送り、進路実現に向けて前提実習に臨みます。

最後になりますが、施設を活用させていただきました関係者の皆様にお礼を申し上げます。

3 学年作業担当